

(3)本年度の学校評価

本年度の重点目標	教職員全員が一丸となって地域社会にとって有為な人材の育成するために協働し、一人ひとりを大切にしたい指導を推進するとともに、基本的生活習慣を確立させ、就業に対する意識と健康・安全に対する意識を高揚させる。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	PTA活動の活性化及び保護者との連携	「PTAだより」の改善	保護者の意見や要望をできるだけPTAだよりに反映させる。
		保護者会の充実	保護者との連携を密にする。
	天災を想定した防災計画	天災を想定した避難訓練の充実	防災意識の高揚を図る。
		非常用備品の点検	備品の確認等を行う。
教務	学習内容の精選・工夫	学習内容の精選・工夫を図る。	生徒理解に合わせた学習内容の精選を行い、効果的にタブレット等を活用する。
	授業規律の徹底	履修状況報告書を活用し、授業規律の徹底を図る。	履修状況報告書を適宜活用し、授業規律の徹底を目指す。また、生徒全員が落ち着いて授業に臨める環境づくりを行う。
	学習指導の充実	学期毎に行う指導の充実を図る。	生徒個々に合わせた、指導の充実を進める。
	保護者との連携	保護者との連絡を密に行い、日頃から連携を図る。	コロナウィルスの状況を見極めつつ、対面での保護者との連携を図る工夫をする。
生徒指導	能動的な学校生活への取組	職員のより積極的な関りから、日々の学校生活に目標を持たせ、卒業に向けての意識を高めさせる。 自己肯定を促すことのできる、コミュニケーションを意識する。	各生徒の家庭・学校生活の状況や仕事先の状況も鑑みて、コミュニケーションを図る。
	問題行動の未然防止	担任部の積極的な活用による生徒状況の定期的な把握と共有をより進めていく。 情報の積極的な活用と生徒への具体的なアプローチをより進めていく。	教員同士の情報交換や意見交換を通して、一貫性のある指導を展開することで、生徒との信頼関係の構築に努める。また、保護者との機能的な連絡を密にし、早期の対応に努める。
生徒会	生徒会行事への参加率向上	生徒が楽しむことができる生徒会行事を計画・実施していく。	教員だけで進めていくのではなく、生徒会役員と相談しながら、計画・準備を進めていく。
進路指導	進路意識の確立・向上	自己分析および職業研究の指導	生徒に自らの適正、希望について考えさせ、具体的なビジョンをもって職業選択ができるようにする。
	個々の進路希望に応じた進路指導	個々の希望に応じた就労先および学校情報の提供、進路実現に向けた指導	外部とも連携しながら、生徒の希望に応じた進路情報の提供を行う。また、面接練習など、具体的な指導も行う。
保健給食	食事マナーの教育	食事前の手洗い指導	給食前の手洗い・消毒指導を実施する。 給食だよりやHRを使い食事前の手洗いの大切さを教えていく。
	健康管理の把握	健康観察の実施	検温器等を用い、毎日の健康観察を実施する。
		教育相談の環境整備	スクールカウンセラーと連携し、教育相談活動を充実させる。
	教育環境の整備	教室整備の充実・美化	大掃除などで、教室美化に努める。
担任	遅刻・欠席の減少	生徒・保護者へ呼びかけ。	HRや保護者会、電話連絡などを通じて、生徒・保護者へ呼びかけていく。
	行事、HR活動の充実	魅力ある行事、HR活動の充実化	各クラスごとに、生徒に適したHR活動を計画していく。
機械	機械に関する基礎・基本を身につけ、活用できる力を養う。	道具の正しい使い方の習得および機械の安全な操作方法の習得	ものづくりの活動を行うための基礎的素養を身につける。
		工業科目の基礎学力向上	
	安全作業に向けての個人の意識向上。	作業場の整理整頓	安全で快適で、効率の良い実習展開を工夫する。
		生徒自らの安全作業に対する意識改革	作業に適した服装や保護具を着用して実習を行い、工具の安全な扱い方を習得する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		・生徒一人ひとりを大切にしたい指導の推進。 ・基本的生活習慣を身に付け、就職に対する意識と、健康・安全に対する意識の高揚。 ・業務の適正化による、働き方改革の推進。	